

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-3-14	事務事業名 住吉福祉会館建替事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
---------------	---------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 高齢者の知識及び経験を生かし、生きがいと健康づくりのための社会活動を通じ、高齢期の生活を豊かなものとするとともに、生き生きとした高齢社会の実現を目指すため、老朽化した施設を建替える	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)高齢者の生きがいづくりの(笑2-2) (主要施策)福祉会館施設の計画的な推進
	実施内容、実施方法 平成16年度 基本設計 平成17年度 実施設計 平成18・19年度建築工事	根拠法令等 老人福祉法第15条
	事業開始時期 平成 16 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()	

評価指標の設定	活動指標名 事業の進捗率	活動指標の考え方(定義) 全体の事業期間に占める実施済の割合
	成果指標名 住吉福祉会館の利用者数	成果指標の考え方(定義) 対象となっている施設の利用者数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	3,820	136,355	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他				3,480	135,806	
	一般財源				340	549	
	所要人員(B)	人		0	0.30	0.30	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	2,498	2,498	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	6,318	138,853	
	単位当たりコスト (E)=(D)/()	千円					
	歳入	千円	0	0	0	0	
	活動指標	目標値	%			25	50
		実績値	%			25	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	人			34,000	34,365	
	実績値	人			33,121		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	基本設計終了後、住吉福祉会館建替事業の説明会パブリックコメント(市民意見提出手続制度)を実施 内容省略
	国・都・他市・民間等における類似事業	
	運営上の制約条件・外部要因等	複合施設のため、お互い連携し、可能な限り融合する。

コード 6-3-14	事務事業名 住吉福祉会館建替事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
---------------	---------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	現在の住吉福祉会館の施設を継続使用しながら建替えを実施するため、利用者に不便をきたさない。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	高齢者人口が増加するなか、高齢者の利用(活動)場を提供する。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	複合施設のため、高齢者と児童、子育て世代と祖父母時代との交流の機会が提供できる。土地や建築物の有効利用と高度利用を図りより一層の経済性と効率性を重視しつつ利用者の利便性の向上を実現させるため、基本設計・実施設計にあたっている。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	同じ場所に建替えするため問題なし。福祉会館・子ども支援センター・女性センターの各機能を融合し、世代間の交流の機会を提供する施設である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現在の住吉福祉会館の施設を継続使用しながら建替えを実施するため、利用者に不便をきたさない。施設の面積も現在の建物より増えるため問題なし。

17年度における改善点	基本設計終了後、市民の意見も聞いている(パブリックコメント)ため問題なし。
-------------	---------------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。